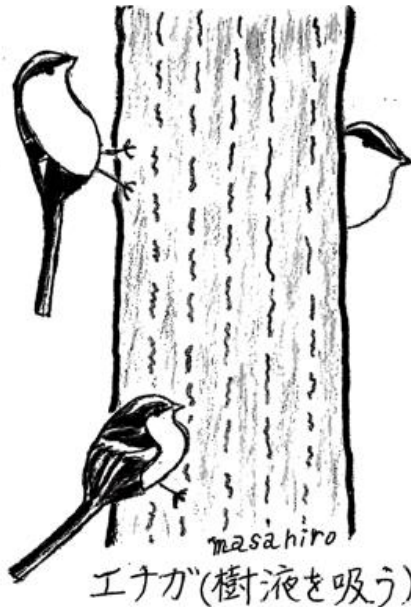




# ゴロスケ報々



エナガ(樹液を吸う)

イラスト: 森の絵本づくりの会 和田

## ● 新年度会費納入について ●

## 事務局からのお知らせ

新年度会費について、振込用紙を同封しました。金額を確認の上、できるだけ早く郵便局からお振込みいただきますようお願いいたします。

<振込期限(厳守)> 3月17日(木)まで (ボランティア保険を途切れなくかける都合上)

- 大人会費 2,000円 子ども会費 600円 家族会費 3,500円  
(家族会費は同居の小学生以上なら何名でも同額ですが、入会申込が各自必要です。)
- 振込手数料は、各自でご負担ください。
  - 2022年1月17日から、ゆうちょ銀行の払込みサービスの利用にあたり、現金で支払う場合、これまでの手数料に加え、110円が加算されます。
  - 詳しくはゆうちょ銀行のホームページ(下記)等でご確認ください。  
[https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/news\\_id001686\\_01.html](https://www.jp-bank.japanpost.jp/news/2021/news_id001686_01.html)
- 郵便番号・住所・電話番号など訂正のある方は、通信欄に記入をお願いします。

振込先口座番号: 00240-1-59172 横浜自然観察の森友の会

### 友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

## ●1月理事会報告●

日時 2022年1月16日(日) 10:20~11:30

出席者 青木、今村、大浦、大西、落合、関根、中里、中塚、西山、星隈、山口、掛下R、尾崎R  
(欠席 秋元、漆原、村松) (COVID-19 感染拡大防止のため原則オンライン参加)

### 議事

#### 1 次年度事業計画

- ・行事計画・PJ活動計画は集約中(1月末×切)のため次回確認します。
- ・会計からゆうちょ銀行の硬貨手数料化対応について報告がありました。

#### 2 定期総会準備

- ・理事選出案(現時点では各枠内の変更予定なし)と監事選出案、監査日程等について確認しました。  
(参加しやすくするため昨年に続き原則オンラインとします)

#### 3 利用推進会議(後期)

- ・3/5(土)13:00~15:00(状況によりオンライン開催)の議題等について確認しました。  
(年間計画・報告は集約途中のため友の会資料は配布せず、暫定版をもとに口頭で説明予定)

#### 4 安全管理

- ・次年度安全管理講習会案を確認しました。
- ・自転車転倒通院(膝強打)の報告があり、自転車安全利用を周知することとなりました。
- ・マダニが園内含む円海山域に多く生息すること、及び冬でも注意が必要なためメール等で調査資料等の周知を図ることとなりました。

#### 5 その他

- ・「つながりの森」のルール of 整理・説明については環境創造局と日本野鳥の会で調整中との報告がありました。
- ・友の会行事の感染対策ガイドラインとして、各行事で状況が異なるが、概ね1グループ参加者10名以内を目安に定員を設定すること、参加者が多く想定される場合は事前申込制とすること、実績状況により10名を超えることが想定しにくい場合には当日受付も可とすること、当日受付の場合にも参加者リストを作成し保健所等へ連絡先を提供できるようにするなど一般的な対策を行うこと、各PJ等の既存ガイドラインを共有し、参考としながら各行事のガイドラインを策定し定例会等で共有すること、一般対象に限らず、会員対象であっても行事の場合には同様に感染防止対策を行うこと、を確認しました。
- ・栄区役所主催緑地保安全管理団体交流会への参加報告がありました。

### <次回理事会>

日時 3月20日(日)11:00~(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室(オンライン併用)

議題 定期総会準備、安全管理、その他

以上

## ●1月定例会報告●

日時 2022年1月16日(日) 9:15~10:15 オンライン併用

出席者 青木、今村、大浦(司会)、大西、落合、志釜、関根(書記)、高橋、中里、西山、藤田、星隈、山口、観察センター掛下R、尾崎R

### 議事

#### 1 友の会の12月から1月までの行事・活動報告をしました。

PJ行事では、「みんなでバードウォッチング」(鳥のくらし発見隊)、「オンラインで季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)と野草保護の助っ人(野草の調査と保護)が実施され、他は中止となりました。  
(次ページに続く)

(1月定例会報告 前ページからの続き)

2 4月までの友の会行事予定を確認しました。

実施予定の行事

「森を守るボランティア体験」観察センター共催 2/20 カワセミファンクラブ担当

「オンラインで季節の森を歩こう」、「みんなでバードウォッチング」、「森の作業体験」、

「初めてのバードウォッチング」 その他の一般の参加型行事は中止の予定です。

予定している行事も感染状況により、中止になることもあります。

3 センターより センター便りのページをご覧ください。

〈次回の定例会〉

3月20日(日) 9:15~を予定しています。オンライン併用の予定です。

以上

★定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン併用ですとご自宅から参加出来ます。

### ●第34回定期総会のお知らせ●

2021年度もCOVID-19対策で厳しい状況の中、各事業への参加・協力ありがとうございました。長期目標に掲げた「未来へつなぎ、みんながつながる、生き物のにぎわいのある森」の「みんながつながる」機会の回復に向け、1年の成果を共有し、次へつなげていきたいと思えます。感染拡大防止と参加機会確保のため、Zoomによるオンライン開催を想定しています。会員の皆様の参加をお待ちしています。

日時 2022年4月3日(日) 10:00~(当日9:30から順次接続テスト)

場所 自然観察センター研修室(密を回避するため、原則各自の自宅等から参加)

議案 ① 2021年度事業報告・決算報告、② 2022年度事業計画・予算

③ 理事監事の選任、④ その他

申込 メールで [entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org) へ(3/18(金)までに)

◆状況が改善し会場開催となる場合は友の会ブログで告知する予定です。施設利用制限などの状況にもよりますが、パソコンやスマホ等でZoomを使用できる環境(マイク・カメラ・回線等)のない方は大変恐縮ですがメール等による資料送付のみとなる場合がありますのでご承知おきください。

◆終了後、「森の説明会」(隔月開催の「森を守るボランティア体験」のオリエンテーション部分=観察の森の役割、活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。森ボラにまだ参加していない会員の方は、この機会にぜひご利用ください。(希望者は申込時に「説明会希望」と明記してください。状況によっては開催出来ない場合がありますのでご了承ください。)

●友の会の理事や担当(交流行事準備などの事務局お手伝い)を募集しています!

〈新入会員・初心者歓迎!〉

行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めてみませんか?

これまでに学生等でも理事として活躍した例があり、どなたでも大丈夫です。

理事の会員公募枠(3名以内)は幅広く推薦・立候補を募集しています。

〈学習機会やボランティア事始めなどとしても最適!〉

何かと役立つグループ運営の実践や活動を知る機会として、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加いただけます。

希望者は事務局メンバーや各PJへご相談ください。

以上

## 焚き火の炎を見て思う



寒い時期になると、雑木林ファンクラブではよく焚き火をします。炎を見ていると、心が落ち着くのは僕だけでは無いようで、最近NHKでも「魂のタキ火」という番組があるようですね。炎を見ていて、近頃、思い出すのは2017年から2019年に掛けて、友の会主催で行った「たたら製鉄」のことです。一般来園者含め、30人以上が炭小屋に集まり、賑やかな「お祭り」となりました。今のコロナ禍の現状を思うと、信じられない光景でした。

そう言えば、皆さんと一緒に砂鉄を採集に行った「稲村ヶ崎」の海岸も、海流の関係かどうかわかりませんが、砂浜がほとんど消えてしまった、と聞いています。この地区における「たたら」のふるさと」の象徴でもあった、あの黒い砂浜が無くなってしまふなんて、これも、コロナ禍と同じく時代の大きな変節点なのではないでしょうか。感染症との闘いを歴史的に観ると、今後、ウイルスは猛威の棘（とげ）を削いでいき、ヒトとの共存を図ることになるのでしょうか。これは、植物とヒトが妥協し合いながら共存する、雑木林とヒトとの関係に似ているところもあるのかな？

さて、コロナ禍は、知人と会えなくなったため、時間をたくさん作ってくれました。そのため、今まで気にはなっていたけど読めなかった世界的に評判の高いSF小説「三体」を読むことが出来ました。この本の主題は、先ほどの「生物の共存」とは違い、「宇宙には共存は一切無い」というもので、それを理論物理学の最新の知見を環境としながら、この恐ろしいテーマを描いています。ここまで異なった見方があるのかと思いつつ、コロナ禍の情報発信の現状とも比べながら、興味深く読んだ次第です。和訳で5巻もある大作ですが、興味のある人は一瞬で読めます。

この本の中の（宇宙の）時間感覚とは、程遠いですが、僕らの森の保全活動も、永い時間経過の中で仕事をしています。草刈一つとってもその成果は、2年後3年後にしか変化は出てこないように思っています。地道に進めることが大事なのでしょう。でも、クヌギの林の花々は少し増え始めているように感じているのは、買いかぶり過ぎでしょうか。・・・杓ノinZFC

## ●友の会プロジェクト紹介（鳥のくらし発見隊）●

「鳥のくらし発見隊」は2000年4月に活動を始めました。年間を通して第2日曜日に「みんなでバードウォッチング」年1回（2月）の初心者向けの「はじめてのバードウォッチング」を実施しています。メンバーは現在18名。10代から70代と幅広い年齢層です。

コロナ禍の中、昨年度は2回しか実施できませんでした。そこで個人的に森を訪れたスタッフが「鳥だより」と名付けた鳥の情報をブログに掲載しました。なんとNo.28まで続きました。またその抜粋を観察センターの中にも掲示しました。

今年度は11月に再開し、3回実施しましたが、これからまたどうなるかわかりません。コロナ禍の以前は、当日来ていただいた方どなたでも参加できるシステムでしたが、現在は定員を決め申し込み制でおこなっています。倍率はいつも2倍以上、落選された方には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

鳥のくらし発見隊 中里

## ●森を守るボランティア体験●

実施日：12月19日（日）

参加者8名、スタッフ友の会4名、センター1名（荒R） 担当：一鳥のくらし発見隊

久し振りの対面による実施でした。終了後5名が入会されました。アンケートにより、「友の会の活動が理解できた」との回答をいただきました。 鳥のくらし発見隊 中里

## ●野草保護の助っ人●

12月11日（土）、友の会会員を対象に、「繁茂しすぎて、他の植物が生えるのを邪魔してしまう植物」をとり除く作業を行いました（参加者3人、スタッフ5人）。以前は希少な植物たちがたくさん生えていたけれど、今はどれも減ってしまった場所で、希少種の数回復させることを目標に作業しました。今回とり除いたのは在来種なのですが、観察の森にも市内にも県内にも広く普通に見られる植物で、「この場所だけは、希少種保護のために、君は繁茂するのは遠慮してほしい」という場所で抜き取りました。このツル性の植物、その場所には、以前はそんなに生えていなかったのですが、今は土の上に絨毯のように厚く何重にも重なっていて、他の植物が生える隙間がありません。1種類だけが繁茂すると、多様性が低下してしまいます。なので、私たちはひたすら抜きました。丁寧にとっていくと、ツルに埋もれていた希少種の株を発見！

今年は咲かなかったけれど、まだ残っていてくれました。また増えますように。

12月14日（火）は外来種の除去を予定していましたが、参加者がいなくて、冷たい雨も結構降ってきましたので、スタッフ5人、早々に解散しました。

来てくださった助っ人のみなさん、ご協力ありがとうございました。

野草の調査と保護PJ：ふじた・かおる

## 友の会行事のお知らせ

### ●春休み行事についてのお知らせ●

例年春休みに行っている幼児～小学校低学年向け行事「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」は、残念ながら今年度も中止することになりました。その代わりに、昨年同様、春休みの間中「ちいさなしぜんかんさつマップ～おたまじゃくしに会いに行こ～（リニューアル版）を自然観察センターで配布することになりました。友の会HPからもダウンロードできるようにします。感染状況が落ち着いたら、ご家族で、春のいろんな生き物をたずねるお散歩にお使いください。

友の会事務局「はじめてのちいさなしぜんかんさつ会」担当：ふじた・かおる

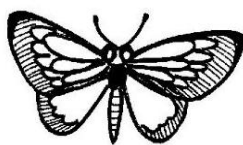
### ●カワセミファンクラブ定例写真展●

春の定例写真展として、この森で撮影された野鳥とチョウ・トンボ等の昆虫写真を展示致します。写真を通してこの森の生態系の多様さ美しさを感じて頂ければ幸いです。

期間：2022年3月27日（日）～5月28日（土）

場所：自然観察センター内

主催：横浜自然観察の森友の会カワセミファンク



イラスト：Mu





# 自然観察センターだより



2022年 2月号

## 【お知らせ】 保全管理懇談会 開催のお知らせ

日時：3/5（土）14：30～16：30 ※利用推進会議終了後に開催します

内容：・今年度、観察センターがおこなった環境管理作業（草刈や伐採など）の報告

・環境管理の課題共有

・次年度以降に計画を検討している保全管理活動の提案と意見交換 など

保全管理活動の提案などこの他に議題がありましたら掛下までご相談ください。

なお、新型コロナウイルスの影響により開催方法の変更や延期となることがあります。

## 【お知らせ】 第6回保全管理フォローアップの会 参加者募集

日時：3/12（土）13～15時

テーマ：ナラ枯れキクイムシ捕獲トラップの中間報告、今年度のふりかえり

今年、はじめて実施したキクイムシ捕獲トラップの報告を中心に、今年度のフォローアップの会のふりかえりをおこないます。

※感染症予防対策のため研修室での参加は先着10名までとさせていただきます。

また、オンラインでの参加も募集する予定です。

※上記2つの催しについて、資料の準備の都合でご出席いただける方は、前日までに

掛下 (kakesita@wbsj.org) か中沢 (nakazawa-k@wbsj.org) までご連絡ください。

## 【報告】 第5回保全管理フォローアップの会は中止に

1月8日（土）にピクニック広場でのクズ根掘りを予定していた保全管理フォローアップの会は、2日前に降った雪と当日朝の冷え込みによる地面の凍結とで、作業の困難さが想定されたことから中止としました。延期しての実施を検討していた矢先の「まん延防等止重点措置」の発出により、延期日も定まらないため、1月28日（金）にレンジャーの掛下、中沢、有馬で2時間ほどかけて活動を行いました。結果は、写真のとおり、見事な根っこを掘り当てることができました。まだまだ、掘り返したいクズのランナーがたくさん伸びています。次年度も継続していきたいと考えています。



## 【お知らせ】 アライグマの巡回中間報告

昨年11月末から開始している特定外来生物のアライグマの捕獲活動において、1月14日にハクビシンを捕獲することができました。この活動を開始して9年目にして初めての捕獲です。これまで「定点カメラ



で動物調査」での記録や目撃情報はありましたが、ワナにかかることはなく不思議に思っていました。ハクビシンは外来種ですが、日本に移入された起源は古く特定外来生物には指定されていません。また、観察の森での被害についても明らかになっていません。しかし、生態系被害を及ぼしている可能性は否めないことから、鳥獣保護法に基づき、毎年、横浜市に捕獲申請をしていました。今回、捕獲することができたことは貴重な記録になるものと思います。

## 【報告・お知らせ】 「聞きなしコンテスト」

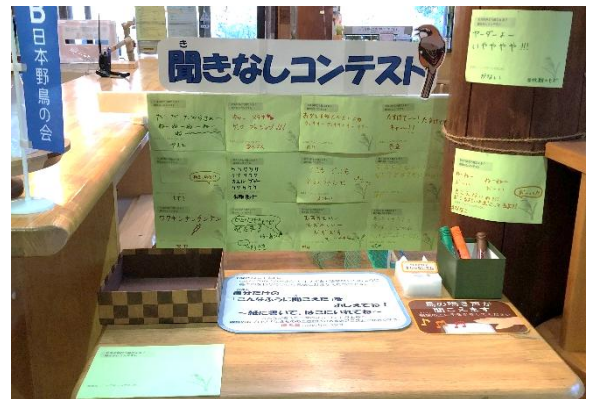
観察センター内の「この森の野鳥」展示コーナーでは、「聞きなしコンテスト」と称して、テーマに挙げた鳥の声がどんな風に聞こえるかアイデアを募っています。

10月から12月はモズの鳴き声をテーマに募集。「キーキー」、「キチキチキチ」、「ジュンジュン、ギョングョン」などと聞こえる甲高い声で鳴きますが、みなさんどのように聞きなしをされているのでしょうか。結果を見ると…

「だ・だ・だからさあーねーねーねーねーねーね〜」、「むずかしい〜むずかしい〜むずむず も…わからん!」、「コンニチワ コンバンワ さよなら」、「キャキャキャキャ ハハハアハアハハハ キャキャキャキャ」などなどバリエーションにとんだ作品が集まりました。

レンジャー一同で選んだ優秀賞は、「おかしをね 食べたいよね クッキキークッキキークッキー」でした。クッキー好きのモズ…想像すると笑ってしまいますね。たしかにそう聞こえるかも!という言葉のチョイスに感服しました。今回は何名かの友の会のみなさまにも挑戦していただきました!ありがとうございました。

1月から3月末にかけては「ヒヨドリ」の鳴き声をテーマに聞きなしを募集しています。鳴き声に色んなパターンがあると思うので、ご自宅で観察の森でヒヨドリの声を聞いてアイデアを練っていただき、ぜひ挑戦してみてください。力作お待ちしております。



## 【展示中】 ヤマアカガエルの卵塊数報告

観察センターの窓側で、企画展の一部としてヘイケボタルの湿地の成り立ちや管理の方法を紹介しています。一番のみどころは、ヤマアカガエルの産卵状況のグラフです。友の会の「カエル調査隊」のみなさんの調査が実施されるたび、数字を更新していきます。今年は雨がなかなか降らず、ヘイケボタルの湿地での産卵は今のところ確認できていません。みなさんの手元にゴロ報が届くころはどんな結果になっているのでしょうか。

### ボランティアさん ありがとう

12月1日～1月31日



イラスト：かない

- 12/1～ カワセミファンクラブのみなさま  
自然情報のご提供・園内の利用状況の情報提供
- 12/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供
- 1/9 鳥のくらし発見隊のみなさま センター前サークルベンチの雪かきのご協力
- 1/26 雑木林ファンクラブ ストーブ用薪のご提供



横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者： 公益財団法人  
日本野鳥の会  
Wild Bird Society of Japan

# 行事スケジュール 2月～4月

■：センター行事  
●：友の会行事  
★：共催行事

## ●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

●カワセミファンクラブ定例写真展  
日時：3/27(日)～5/28日(土)  
場所：自然観察センター内

下記行事は中止となりました。

- 森の作業体験(間伐体験)  
2/26(土)
- 初めてのバードウォッチング  
2/27(日)

## ●自然観察センター主催行事●

### ■鳥類調査超入門(第2回)

バードウォッチングの経験がある方、一步踏み込んで野鳥について知りたい方、鳥類調査に興味のある方を対象に、調査方法や結果のまとめ方を学んでいただきます。

開催日：3/24(木)  
9:30～12:30(雨天決行)

※第1回(1/23)と同一内容です。

定員・対象：10名 抽選

①～③の条件を満たす中学生以上の方

- ①野鳥観察歴が1年以上
- ②身近な野鳥10種以上を姿や鳴き声で識別できる
- ③双眼鏡を持参できる(事前申し込みで貸出可)  
申込締切：3/14(月)  
詳細はセンター配布のチラシ、またはHPにて。

※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン配信への変更を行う場合があります。

## ★ 注意 ★

新型コロナウイルス対策の状況によっては、各行事の募集中止/再開、開催方法や開催日の変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ ([blog.livedoor.jp/yns\\_tomo/](http://blog.livedoor.jp/yns_tomo/))  
で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。

## ●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

申込制イベントは、新型コロナウイルス感染症の状況により開催方法等が変更となる場合もあります。申込内容など詳細を友の会ブログ「森のでのできごと」でご確認のうえお申込みください。

### ●オンラインで季節の森を歩こう

～リモートでの森の観察会です～

3/6(日)・4/3(日)

11:00～1時間程度(ZOOM接続10:30～)

定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)

申込：メールで [entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org)

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

### ●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で活動再開しました!

3/13(日)・4/10(日)

9:30～12:00(雨天中止)

定員：15名(事前申込、応募多数の場合抽選)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)

申込：メールで [entry@ynstomo.org](mailto:entry@ynstomo.org)

申込内容：行事名(みんなでバードウォッチング)、参加者全員の氏名年齢、代表者連絡先(住所・携帯電話番号)、双眼鏡の貸出し希望台数

詳細は友の会ブログ「森のでのできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

## ●参加者募集中止・未定の定例行事●

### ●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

2021年度は参加者募集中止です。

### ●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

2021年度の行事活動は中止です。

### ●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

2021年度は行事活動は中止です。

発行日 2022年2月20日  
発行 横浜自然観察の森友の会  
FAX 045-894-8892  
E-mail: [jimukyoku@ynstomo.org](mailto:jimukyoku@ynstomo.org)